

〔越前國名蹟考七〕素良按ずるに、○中何れの比にか、當國六郡を分て十二郡とせし時、足羽郡を割て、此郡を置しものなるべし、されば太平記には、今の吉田郡の内をも、押なべて足羽とのみ記したり、扱吉田郡の郡號は何に依て名付しと云事、考へ知がたし、又一説には、坂井郡を割て吉田郡を置ともいへり、去ながら、たしかなる證迹を見ず、

〔日本靈異記下〕拍子憶持千手呪者、以現得惡死報緣第十四

越前國加賀郡有浮浪人之長、探浮浪人、驅使雜徭、徵乞調庸、于時有京戸小野朝臣庭麿、爲優婆塞、常誦持千手之呪、爲業、展轉彼加賀郡部内之山、而修行神護景雲三年歲次己酉春三月廿七日午時、其長有其郡部内御馬河里、遇行者曰、汝何國人、答我修行者、非俗人也、長瞋噴言、汝浮浪人、何不輸調、縛打驅徭、猶拒逆之、○下

加賀郡

〔本朝文粹二〕意見封事、意見十二箇條

一請加給大學生徒食料事

善相公 清行

右臣伏以治國之道、賢能爲源、○中至于天平之代、右大臣吉備朝臣恢弘道藝、○中其後代々下勅、給罪人伴家持、越前國加賀郡沒官田一百餘町、○中以充生徒食料、號曰勸學田、○中延喜十四年四月廿八日 從四位上行式部大輔臣三善朝臣清行上封事

○按ズルニ、加賀、江沼ノ二郡ハ、弘仁十四年ニ、分立シテ加賀國トナル、

〔倭名類聚抄七〕越前國敦賀郡 神戶 與祥 津守都毛 伊部 從省○省、高山寺本作者、鹿蒜山寺本作、比、高

丹生郡 賀茂 野田乃丹生 岡本乎加毛止○毛止二字 泉○高山寺本無此鄉 從省之土無○高山 可知

朝津阿佐 三太

今立郡 芹川加世里 大屋 酒井佐加 味真阿知 勝戸高山寺本註以會倍 勝部○高山寺本註波止利 中山○高山寺本註

船津布奈 會博會波

郷